

二町内の自治会新聞

住みよい町づくりを目指して

誰しも自分の町が住みよい町であれと願わない者は、居ないと思います。住みよい町とは、

一 住環境の良さ

緑があり、閑静であること道路が整備され、交通の便が良い。夜は、道路の照明があり明るい事危険な個所には、カーブミラーや横断歩道があるなど

二 美しい町づくり

道路やバス停にゴミが落ちていない。ゴミステーションがいつも整理されて違反ゴミがない。公園がいつも清掃され、ゴミが落ちていない。散らさない。

三 安心安全な町

子ども達の安全を確保する。お年寄りが安心して、安全に暮らせる町

四 明るい挨拶があり、

温かいコミュニケーションのある町等が挙げられると思います。

二町内には、健軍神社の杜があり、各家庭には美しい樹木が植えられ緑に恵まれた地域だと思います。そして閑静な町だと思います。夜間照明や道路整備にも力を入れてきましたからよそに比べたら良い方だと思います

又美しい町づくりでは老社会による公園愛護会の皆さん、ラジオ体操クラブの皆さんが公園内を、

個人のボランティアの皆さん、地元企業では、三津野建設、山伝さんが公園周辺の道路を清掃して居られます。

ゴミステーションでも数は少ないが違反ゴミの整理・清掃に励んでおられます。

安心安全町づくりでは、子どもを守る会の方々が毎日子ども達を見守っておられます。九十歳のお爺ちゃんを先頭に八十歳以上が十人近く居られます。

事務局
村上徹郎
TEL 368-5384
住所 健軍本町 26-3

す。頭が下がります。しかしいつまでもこの方々に頼っていて良いものでしょうか。又、夕方から夜にかけて青色パトロール隊が校区をパトロールしています。

災害時要援護者のお年寄りには、救助隊を配して、災害時の訓練を行っております。しかしこれらのシステムが機能するために、まだまだ人員が足りません。

最後になりましたが温かいコミュニケーションは、住民の皆様一人一人の心がけが必要です。朝の挨拶に始まり、町内行事により多く参加する事によって自然に出来るものだと思います。

子どもを守る会や公園愛護会のようにお年寄りによって、子ども達の安全、公園の美化が保たれています。もっと若い世代が参加して徐々に世代交代をはかっていかなければなりません。このままでは住みよい町も消滅

してしまいます。若い世代の奮起を期待します。住みよい町づくりを推進していくためには、行政とうまく連携して、地元住民が汗を流す事が大切です。現在、町内のボランティアを上げますと

公園愛護会

四月から十二月まで第一日曜日七時から

子どもを守る会

低学年の子ども達の下校時間五か所のポイントで子ども達を見守る

青色パトロール

部活動生の下校時間所定のエリアをパトロールする。週三回

ゴミステーションの整理と清掃

町内一斉清掃 春と秋

自主防災クラブの会員募集

災害時要援護者の救助隊と声かけ運動

八丁馬場の剪定作業

六月の第一土曜か日曜日

不法掲示物の除去作業

年間三回程程度

防災訓練への地元企業の参加

現在 三津野建設、大東建託、日本乾溜りスロン、田原商会

すがコーポレーションイチグチクリニツク等に協力頂いております。どうぞ地域に協力する企業として、参加をお待ちして居ります。

町内夏まつりへの参加

夏越し灯路祭りへの参加等現在取り組んでる活動です。

可能な方は、全部に亘って参加して頂出し、忙しい方も三回以上は参加するようになれば、素晴らしい町づくりができると思います。

日本一住みよい町になる事も夢ではないと思います